はなみずきのまちだより

2010年3月
第45号

編集･発行 千種区社会福祉協議会
名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1
TEL 052-763-1531 FAX 052-763-1547
ホームページ
http://www.chikusa-shakyo.jp

災害ボランティアちくさネットワークが設立されました!!

　平成21年12月19日(土)に「災害ボランティアちくさネットワーク」の設立総会が開催されました。
　このボランティア団体は、災害ボランティアセンターが立ち上がった際に、運営協力することを第一の目的としており、日ごろから、防災についての啓発活動を行うことを目的としています。

　現在メンバーは区内在住の男女17名です。市内の各区に同じ目的の団体があり、今後は、本会・区役所・他区の団体と連携をしながら、災害時に対応できる組織づくりを目指し活躍することが期待されます。

参加メンバー募集中!!!

上記団体に参加したい方は、本会ボランティアセンターまでお問い合わせください。
（連絡先は最終面）

災害ボランティアセンターとは…???

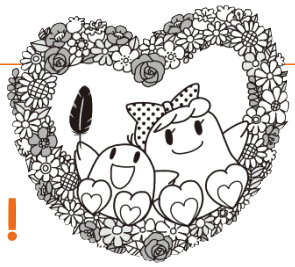
　全国から駆けつけたボランティアを受け入れ、被災者のニーズにあわせてボランティアを派遣するなど需給調整を行い、ボランティア活動を円滑に行えるように支援するための拠点。名古屋市においては、「名古屋市地域防災計画」により、市・区に設置するとされています。区に設置される災害ボランティアセンターについては、千種区社会福祉協議会が中心となり、色々な機関と連携して運営をします。

　各ページにSPコードを載せました。SPコードとは、このコードの中に文字情報を記録することができ、専用の読取機で読み取ると本紙の内容を「音声で聞く」ことができます。これにより、高齢者や目の不自由な方にもこの広報紙の情報をご提供できるようになります。（携帯電話で読み取るQRコードではありません。）
　SPコードをご利用した方がいらっしゃいましたら、千種区社会福祉協議会(TEL.763-1531)までご連絡ください。

SPコード

この広報紙は賛助会費を財源に作成しました。

千種区の木：ハナミズキ　　千種区の花：アジサイ



ボランティア・NPO応援助成（21年度助成団体）助成金で素敵な楽しい事業が開催されました〜!!

今年度は、ボランティア・NPO応援助成事業※においてボランティア6団体・NPO4団体が助成を受けられました。各団体が色々な事業に取り組み千種区内で活発に活動をしています。今回は、ボランティア2団体とNPO2団体の実施事業をご紹介します。

ボランティア団体　若水おやじの会

事業名：**親子もちつき大会**
実施日：平成21年12月20日（日）
場　所：乗西寺

親子や友達と一緒に普段出来ないもちつきをしながら交流できる楽しいイベントとなりました。つき立てのお餅をきなこやあんこを付けて食べたり、磯辺焼きとして食べたりと色々な味を楽しむことができました。また、花餅を作るコーナーもあり子どもも大人も参加し多くの人で賑わっていました。

ボランティア団体　チャンス

事業名：**マイハウスまつり**
実施日：平成21年10月17日（土）
場　所：マイハウス内

2周年を迎え、もっとたくさんの方に「マイハウス」を知ってもらうことを目的にマイハウスまつりが開催されました。当日は、ペットボトルボーリングやボール入れを子ども達が店主となり運営をしたり、コマまわしをしてみんなで競争したり、大型絵本のよみきかせを行ったりと楽しいおまつりとなりました。

NPO団体　NPO法人 草のネット

事業名：**ふれあいコンサートⅣ**
実施日：平成21年８月２８日（金）
場　所：千種文化小劇場

区民の皆様との地域交流促進をテーマに、ギターの弾き語りや胡弓の演奏等5組の出演者によって、約130名の方の来場がありました。コンサートの終わりには、出演者とスタッフ、そして観客の皆様が一体となって大合唱を行い、交流とふれあいの場が出来てとても素敵なコンサートとなりました。

NPO団体　NPO法人 花＊花

事業名：**第4回 花＊花ふれ愛まつり**
実施日：平成21年１１月１日（日）
場　所：乗西寺

地域で活躍するNPO・ボランティア団体を紹介し、年齢や性別を超えた人々が楽しく交流し、活力ある地域を目指し、コンサート・人形劇・お楽しみ抽選会等が行われました。今回は、仲田商店街の秋まつりとの同日開催であり新たなつながりが生まれていました。

※赤い羽根共同募金の一部を財源として、千種区内で活動する非営利の団体に地域福祉の視点から助成を行うものです。

みんなの力をあわせて地域福祉をすすめよう！

であい・しりあい・わかちあい
地域福祉実践者ミーティング（22年1月18日開催）

現在千種区では、各学区を拠点として活動する「エリア型」の※地域福祉推進協議会や、目標を共に活動する「テーマ型」の様々なボランティア・ＮＰＯ団体によって地域福祉活動が進められています。今回は、普段交流することの少ない「エリア型」と「テーマ型」の団体の代表等約２０名が、今後連携して共に地域福祉活動に取り組んでいくため意見や情報を交換し、大変有意義な「出会いの場」になりました。

今後、本会ではこのような地域福祉実践者の交流する機会を設け、実践者とともに地域福祉活動を支援していきたいと思います。

※地域福祉推進協議会：誰もが安心して暮らせる福祉のまちを、地域住民全体で進めていくために小学校区単位設置された団体

こんなところに賛助会費！⑰

ここでは、皆さまからいただいた賛助会費が地域の福祉活動の場面でどのように使われているかをご紹介します。

～ボランティア情報紙「ティアラ」～

千種区社会福祉協議会には、ボランティアの需給調整やボランティア講座などを行うボランティアセンターがあります。ボランティアセンターでは、ボランティア向けの情報紙「ティアラ」を年3回発行しています。発行においては、千種区に在学・在住の学生ボランティアに紙面構成や取材などに協力をしてもらい、わかりやすく楽しいボランティア情報紙の発行に取り組んでいます。

▲協力していただいた学生ボランティアの愛知淑徳大学粟野さん・岩田さん

▼ボランティア情報紙「ティアラ」

賛助会員募集中！

いっしょにすすめてみませんか？誰もが安心して暮らせるまちづくり

千種区社会福祉協議会では、区民の皆さまとともに地域福祉を推進するにあたり、事業の運営を支援していただける賛助会員を広く募集しています。会費は下記のような各種福祉事業推進のための貴重な財源になっています。ひとりでも多くの方のご協力をお願いします。

- **学区地域福祉推進協議会事業への助成**
- **学区ふれあい給食サービス事業への助成**
- **「広報紙の発行」「楽しく体操　らくらく広場の開催」など 千種区社会福祉協議会の各種事業・千種区在宅サービスセンターの運営**

賛助会費

個　人　会　員 1口　　５００円
法人・団体会員 1口　５，０００円

お申込みは　千種区社会福祉協議会
電話７６３－１５３１まで

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました!!

©中央共同募金会

昨年の10月1日から12月31日まで実施された共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）に、皆様からたくさんのご協力をいただきありがとうございました。

共同募金は、千種区内の町内会や企業・スーパーやコンビニなどのお店・個人の方、更には学校・公所など様々な場所でご協力をいただいており、今年も多くの募金額となりました。

平成21年度　赤い羽根共同募金実績額

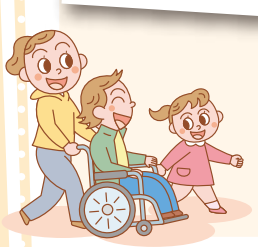
●赤い羽根共同募金	15,153,884円
●歳末たすけあい募金	1,198,989円
●合　計	16,352,873円

募金方法のひとつ　街頭募金の様子

共同募金の助成を受けた区内の各種団体や、学生さんにご協力いただき、街頭で地域の方に募金をしていただけるよう呼び掛けをしました！！

千種区手をつなぐ育成会の皆さん

子ども会の皆さん



皆様からお寄せいただいた募金は、次頁で紹介する各種事業の貴重な財源として活かされています。今後も千種区の様々な福祉事業のために大切に役立てていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

お知らせ

赤い羽根共同募金（例年10月～12月）に店頭・窓口に募金箱を置いていただけるお店や施設を大募集しています!ご協力いただける場合は、千種区共同募金委員会までご連絡ください。（TEL 052-763-1531）

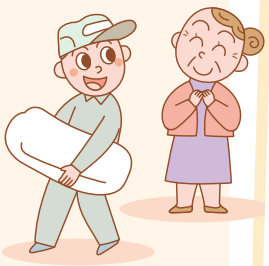
～赤い羽根共同募金の使いみち～

秋だ！ まつりだ!! わくわく社協フェスティバル

平成２１年１１月、社協フェスティバルが盛況に行なわれました。

当日は、千種区ボランティア連絡協議会のみなさんや多くのボランティアさんのご協力をいただき実施しました。開会の際、雨が残っていたにも関わらず多くの来場者があり、バザーや模擬店、パフォーマンスで賑わいました。なお、バザーや模擬店の収益金は、全て共同募金に寄付させていただきました。ありがとうございました。

寝具クリーニングサービス事業

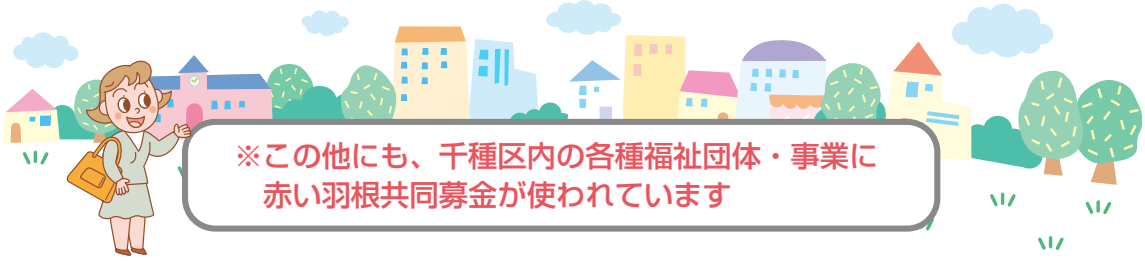


平成２１年１１月に、区内６５歳以上のひとり暮らし高齢者の方などで日ごろ布団を干すことが困難な方を対象に寝具クリーニングサービス事業を行いました。この事業は、千種区民生委員連盟のご協力をいただき、２１１名の方にご利用をいただきました。朝早くに預けた布団などが、その日の夕方に、清潔でふっくらした状態で戻るサービスは好評でした。

★キラキラ★サンタ事業　～つながる･ひろがる･かよいあう～

地域の子育てサロンにて、ボランティアグループ「花水木鯱城会」のメンバーがサンタクロースに扮して、子どもたちにプレゼントを渡すイベントを行いました。今年で3年目を迎え、千種区内全15学区にて579個のプレゼントを配ることができました。プレゼントは、赤い羽根共同募金の配分金から用意しました。

その様子をケーブルテレビ「スターキャット」が取材をされ、12月22日から5日間放送されました。また千種ホームニュース（1月16日号）にも記事が掲載されました。



※この他にも、千種区内の各種福祉団体・事業に
赤い羽根共同募金が使われています

番外編

介護保険事業の紹介

今回は番外編ということで、介護保険事業所で構成する「千種区介護保険関係事業者連絡会」の紹介をいたします。このコーナーで紹介してきたように千種区には多くの介護保険事業所があります。その事業所はどんな活動をしているのか？どうぞご覧ください。

千種区介護保険関係事業者連絡会（以下連絡会）は、千種区を営業地域とする介護保険事業所の任意団体です。介護保険事業運営について、事業者同士で情報交流・相互支援を行うことを目的に、現在９０の事業所が会員として集っています。

▲「老人ホームについて知ろう！」で説明する坂本代表幹事

活動内容としては年４回の例会開催（会員のスキルアップを目的とした研修会や相互交流のための事業者PR会等）、地域包括ケア会議等への出席をはじめ、事業者としての知識・経験を活かし、地域福祉事業にも積極的に参加をしています。本紙「はなみずきのまちだより」第42号にも掲載された高齢者はつらつ長寿推進事業における『老人ホームについて知ろう！』企画においては会員事業所から８名のケアマネジャーと２名の施設職員が地域の方々に介護保険事業や施設の紹介を行いました。

連絡会には、介護保険制度における円滑な事業遂行の大切なパートナーである区役所・千種区医師会・地域包括支援センターも快くオブザーバーとしてご参加いただいております。思えば同業種「商売敵」（？）同士の集まりなのに、非常になごやかな優しいムードが流れているのが千種区連絡会の最大の特徴であり、強みです。

連絡会代表幹事であるしもかた居宅介護支援事業所　坂本武久さんは、**『連絡会として今後はますます業種間交流に力を入れたい』**と話します。『介護保険事業者の中には大手の事業所もあれば、ケアマネ１名だけの小さな事業所もあります。小さな事業所は情報も入りにくく、孤立しがちです。また、円滑な事業運営のためにはケアマネとサービス事業所の緊密な連携が重要です。顔の見える関係づくりと共通の課題を一緒に検討していくこと等に取り組んでいきたい』

▲連絡会について熱く語る坂本代表幹事と上出幹事

また同じく幹事のケアネット大久手　上出かつ枝さんは**『噂になる連絡会を目指したい！』**と頼もしい一言。介護保険事業所を取り巻く現状はいまだ厳しく、せっかく事業所を立ち上げても廃業するところや、ヘルパーの慢性的な不足（これはどこの訪問介護事業所にも共通の悩み）等どの会員事業所も多くの悩みを抱えていますが、他区の連絡会に負けずに（？）活動すると同時に、千種区内の方々にも噂をしていただけるよう事業者同士の連携だけでなく、地域に密着する介護保険事業所としての立場を活かし**「地域に貢献する連絡会」**を目指したいと思います。

会員は随時▶募集中です！

詳細は　千種区介護保険事業所
TEL763-7842(内山)まで

千種区を営業地域とする介護保険事業者であれば**入会OK!**

ひろがっています

認知症サポーターの輪!!

平成２１年度、千種区西部地域包括支援センターでは１１回の認知症サポーター養成講座を開催し、延べ１５２名の新しいサポーターの方が誕生しました。

地域住民の方はもちろんのこと、高校生、大学生の方など若い人にも興味を持っていただき、認知症の理解を深めていただくことができました。

☆受講者の声☆

▲養成講座の様子

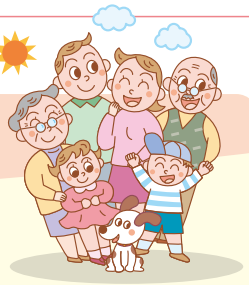
- 認知症のお年寄りが多いことにおどろいた。今後、正しい知識を身につけて困っている方の役に立ちたい（10代男子）
- わかりやすかった。認知症はこわいものだと思っていたけど、全然そんなことなくて自分でも簡単にサポーターができるんだと知りました（10代女子）
- 詳しいことをたくさん知れてよかった。今回学んだことを将来の夢にも役立てていきたいです（10代女子）
- いずれ自分の問題になるように思う。誰でもなる･･･地域で支えることが何より（60代女性）
- 脳のしくみの図解や寸劇で楽しく学べました（70代女性）
- 今回の受講を参考にした対応ができそう。病気であればいつ誰がなるかはわからないことであり、他人ごとではないという想いが強まった（70代男性）
- 両親の介護が始まりました。そんな折、この講座を知り、とても参考になりました（60代女性）
- 学んだことを家族や学校の友人にすすめたいです（20代女性）

認知症サポーターとは…

「認知症サポーター養成講座」を受講し、認知症についての正しい知識を持った認知症の方やご家族の応援者です。

千種区西部地域包括支援センターでは、認知症のことを理解し地域で支えていくためにサポーター養成講座を毎月１回第３水曜日に定期的に開催しています（定期開催以外でもご希望があれば、日程、場所調整のうえ、出向くことも致します）。たくさんの方にサポーターになっていただきたいと思います。お申込みをお待ちしています。

問合せ先　７６３－１５３０



“ちくさ福祉見学ツアー”をおこないました

進捗状況

★第２次地域福祉活動計画★
～つながる・ひろがる・かよいあう～

千種区を誰もが住みやすいまちにするために、第２次地域福祉活動計画推進委員会を発足し、定期的に話しあいをすすめています。

その計画の実施項目④『福祉を知り学ぶ場づくりの推進』のプレ実施として“ちくさ福祉見学ツアー”を２月４日におこない、今池駅を中心に、複数の福祉施設などに出かけました。今回は本格実施前の段階でしたが、参加者から『現地で見聞きしたことがすごい勉強になった』『ツアーに参加してよかった』との声を聞くことができました!!

善意の小箱

「千種区の福祉に役立ててください」と善意の寄付をいただきました。

＜平成21年9月１日～平成22年1月31日＞

- 株式会社宮田商店 様
- 遊の会 様
- ひよこの会 様
- 匿名 ３件
- 大橋　一弘 様
- 虹の会 様

皆さまからいただいた寄付金等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございました。

社協 しゃきょう クイズ

Q. 地域包括支援センターがおこなっている、認知症の方とそのご家族を地域で暖かく見守る応援者を養成するのは“認知症○○○○○養成講座”です。○○○○○に入るのは何でしょうか。

①サポーター　②コーディネーター　③カウンセラー

【応募方法】ハガキにクイズの答えと広報紙「はなみずきのまちだより」の感想をお書きください。住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ千種区社会福祉協議会「社協クイズ」係まで。**締切は３月３１日(水)とさせていただきます。**

☆正解者の中から抽選で１０名に記念品をプレゼントします。

社会福祉法人
名古屋市千種区社会福祉協議会
（千種区在宅サービスセンター内）

〒464-0825／名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1
●お問い合わせ先
電話　【代表】052-763-1531
【ボランティアセンター】052-763-1536
【千種区西部地域包括支援センター】052-763-1530
FAX　052-763-1547
ホームページ　http://www.chikusa-shakyo.jp

●公共交通機関のご案内

市バス	金山11号系統(金山-池下)	田代本通	下車徒歩5分
	栄16号系統(栄-名古屋大学)	田代本通	下車徒歩5分
	名駅17号系統(名古屋駅-名古屋大学)	田代本通	下車徒歩5分
	千種巡回系統(地下鉄自由ヶ丘-地下鉄自由ヶ丘)	田代本通	下車徒歩5分
地下鉄	東山線「覚王山」4番出口 または 東山線・名城線「本山」4番出口		下車徒歩10分

駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

この広報紙は賛助会費を財源に作成しました。